

山本章夫



名古屋大学大学院工学研究科教授。1987年京都大学学士課程修了（球面調和関数法に基づく輸送理論）、理学士（原子核工学）。1989年京都大学修士課程修了（高転換型軽水炉の臨界実験と分析）、修士（原子核工学）。1998年京都大学博士課程修了（軽水炉の装荷パターン最適化法）、博士（エネルギー科学）。1989年から2003年、原子燃料工業株式会社にて商用軽水炉の炉内燃料管理および関連方法論開発を担当。

現職においては、既存および革新炉の炉心解析手法の高度化、感度解析および不確かさの定量化、並列計算および分散計算を用いた大規模シミュレーション、原子炉物理学に関する教育、そして原子炉の安全性向上の取り組みに注力している。

原子力規制委員会の軽水炉、核燃料施設の新規制基準策定検討チーム、特定原子力施設監視・評価検討会、核燃料安全専門審査会の会長などを務める。

日本原子力学会原子力安全部会部会長、標準委員会副委員長、米国原子力学会 ANS Fellow、Board of Director (2019-2021)。